

関連項目：教育活動プラン①

## 教師全員で良さを見つける名人カード

### 目的

本校の児童は、家庭で当たり前のことが当たり前にできるというよい習慣づくりが身に付いていない児童が多い。そこで、よい習慣づくりを目指して、あいさつ、姿勢、掃除などの名人カードを作ることにより、よい習慣に対して児童を賞賛していく取り組みをしている。

### 内容

#### ● カードの作成

あいさつ・へんじ名人カード、姿勢名人カード、そうじ名人カード、歌声名人カードなどを作成し、頑張っている児童にカードを渡している。



名人カードシステム		
あいさつ名人	あいさつへんじ名人	朝や帰り、入室のあいさつや返事のよい児童
	あいさつボランティア名人	朝のあいさつボランティアに7時半までに参加した児童
	あいさつボランティア名人	朝のあいさつボランティアに参加した児童
姿勢名人	授業中の姿勢、朝のつどい等で起立時、着席時、正座時の姿勢のよい児童	
歌声名人	朝の会、授業、朝のつどい等で大きな口や大きな声で歌えている児童	
そうじ名人	清掃時間にペアでまじめにそうじのできている児童	

#### ● 教育活動でのカードの活用

朝のつどい（全校集会）・朝の会・帰りの会・授業・休み時間・ふれあいタイム（縦割り活動）などすべての教育活動時間において、担任だけでなく、全ての教員が名人カードを渡すことにより、児童の意識を高める。

名人カードをもらった児童は毎日保存し（教師の管理の下）、毎月末にカードの枚数を集計する。基準枚数に達すると、与北小学校チャレンジ賞として全校集会で表彰される。

そのことを励みに、児童はよい習慣を付ける取り組みに意欲的になっていると考える。

その他にも、カードの活用はないが、児童会が中心となって服装100%（名札・リボン・ボタン・腕章・黄色帽子）、チャイム着席100%（5分前に教室に戻り着席する）、遅刻・欠席0、上靴・下靴の整頓などよい習慣づくりを進める活動を毎日行っている。

#### ● カード配付の改善

カードの種類によって基準枚数の到達度に差が出ることがある。また、教師側のカードを渡す基準にも教師により差が出ることがあるので、枚数の基準とカードを渡す基準を全職員で再考する余地がある。

### 成果

このような取組をすることにより、よい習慣づくりを意識することができるようになってきた。また、意識することにより、家庭でも少しずつ変わってきたという報告を受けている。

さらに、学校での取り組みをチャレンジ（学校通信）や学年通信で呼びかけることにより、保護者にも啓発していくことができている。